

OT Job 通信

「刺し子」との出会い

入院生活が6か月になりました。薬物療法に加えて作業療法と認知行動療法に依るリハビリの為にプログラムに、患者さん全員が日々の回復を目指して頑張っています。私も不慣れた環境の中、趣味彩々のプログラムで、何かしなければという思いから始めたのが刺し子でした。

準備して頂いてあった花ふきんの中から「柿の葉」という柄を選び、ひと針ひと針・・・仕上げるのが出来たのが2ヶ月後でした。

気力もなく焦燥感に囚われていた私にとって、まるで自分への千人針を刺すような気分でしたが、次第に自信につながっていききました。以来、現在までに仕上げた花ふきんは、8枚になり趣味として楽しんでいけそうです。

拡げてみると、柄や色使いがその時々々の心を映しているようにも思えます。先生はじめ、スタッフの方々、仲間たちのサポートのおかげで、退院が決まりました。自分を知る努力と考え方を修正するために学んだ多くの経験を生かしていくことが、これからの課題です。

大変お世話になりました。ありがとうございました。



入院生活で日々思っていること

入院生活が長くなり、色々な事に気が付きました。自分の考えが絶対正しくもないと気付く、自分の病気を受け入れると同時に、他の方の意見も受け入れ、前向きに一日一日大切に過ごしています。

今後退院したら、入院前の生活と違う環境に身を置くことでしょうか。人間関係など、悩む事もあるかと思いますが、周りの方と協調性を持ち素直に、明るくストレスをためず趣味を楽しみ、生き生きと生活したいです。健康でも、病気であろうと、生きている限り必ず試練はあります。ピンチをチャンスに変え、心をやわらかくし、人の為にも行動できる優しさや愛しさを持つて強く生きていきたいと思っています。

辛い時も、あと一日頑張ってみようとおもい、悩みを一人でかかえ込まず、主治医や友達などに相談し、命を大切にしたいですね。



そうめん(七夕)

入梅し雨の日や曇りの日も多く多くなり、雨に濡れたあじさいが美しい季節ですね。

もうすぐ暑い夏が来ますが、夏といえばお昼ご飯は、よく冷やしたそうめんにしようと思っ方も多いことでしょうか。

平安時代には、七夕の供物として用いられたとされる、そうめん。七夕は、彦星と織姫が年に一度だけ会えるハッピーな日ですね。

織姫の織る五色の「糸」、また彦星と織姫が一年に一度だけ渡る事を許された「天の川」を思わせる風流な行事食でもあります。

なんだかロマンチックな食べ物なんですね。



編集後記

梅雨が本格的になり、雨に濡れる病棟の横に咲いている紫陽花が綺麗です。

今は、患者さん皆で7月7日に行われる七夕まつりに向けて準備にいそしんでいます。